地区広報
芸術の森

題字　平澤　博

第20号
平成23年 7月29日
発行　地区広報・芸術の森 編集委員会
印刷　(株)辻　孔　版　社

芸術の森地区連合会発足に当たって

芸術の森地区連合会 会長　**関　口　　明**

芸森地区の皆さんには、地区内の各種事業への参加をはじめ東日本大震災の義援金募集にご協力を賜わりまして心よりお礼申しあげます。

東日本大震災は、地震災害に加え原発被害が重なって、未曽有の災害となりました。3月11日の地震発生直後より各町内会の役員の多くの方々が各職場より救援に派遣されましたが、その中で3月14日より3ヶ月間宮城県南三陸町、石巻市及び気仙沼市において被害道路の復旧や行方不明者の捜索に携わって来られた、常盤団地町内会防犯防災部長の細川さんに救援活動のご苦労の一端をご執筆頂きました。ご一読頂けますと幸いでございます。

ここでは、連合会発足とまちづくりセンター自主運営移行2年目となって、新たな試みについて概要を説明いたします。

◆連合会発足のメリット

まちづくりセンターの自主運営後、懸案事項の一つ芸術の森地区町内会連合会と同まちづくり推進会議との一本化について二団体の臨時総会で承認され、4月より芸術の森地区連合会が発足しました。

連合会発足後のメリットとしては、①組織の一本化による役員重複の解消と会議の効率化。②二組織による予算執行の煩わしさの解消。③今までより団体の加入が増え、当地区のまちづくりが一層しやすくなった。ことなどがあげられます。

◆地区会館を中心とした新しい試み

まちづくりセンターの自主運営移行後1年4ヶ月を経過しました。この間、職員の方々を中心として新たな取組みが行われていますので、その概要を紹介し地域の皆さんの一層のご利用をお願いします。

▼地区会館運営委員会の収支は初めて好転

地区会館の利用は、利用料金が無料の南老人福祉センターをはじめ各町内会館と競合し、苦戦を強いられています。

平成7年に会館が建設され、その維持のため247万円を積立て、市からの助成金毎年度25万円を充てても不足した場合の補填を行ってきました。運営収支は毎年度約15万円の赤字で、現在の残高は18万円となりました。

自主運営に移行した平成22年度は、地区会館の利用を広く呼びかけたり、除雪と排雪費用の削減に努め、はじめて5万円の黒字を達成しました。

▼森の朝市

当地域の農家や家庭菜園に加え周辺地域の農家などが参加して、当地域の消費者に新鮮な野菜やキノコなどの販売をはじめ地域の方々の交流の場づくりを目的として、昨年は2回試行し好評を得ました。

本年は、5月に花や野菜の苗の販売に続き7月17日と8・9月は第1・3日曜日、10月は第1・3・5日曜日の9時から実施を予定しています。また、これに関連して「手打ちそば教室」や「クラフト教室」なども計画しています。

▼地域の方々のふれあいコーナーの設置

近年、国道453号から芸術の森間を散歩する高齢者が増えています。高齢者からは行き帰りの休憩場所がないなどの要望があります。

このため、花壇のスペースを改良し休憩ベンチとオープンガーデンの外、珍しい野菜のキッチンガーデンも作っています。

▼グリーンカーテンの効果に期待

夏期間の暑さ対策とゴーヤ（食用）とホップ（加工用）の利用の1石2鳥を狙いとして栽培を始めました。まだ、生育中ですが、大きく生長した頃には暑さもピークに達し、ゴーヤも食べ頃に、暑さ対策と食味に期待をしています。

このふれあいコーナーづくりやグリーンカーテンづくりについては、札幌市立大学の矢部教授、斉藤准教授のご指導を頂いております。

以上、会館を中心とした新しい試みについて紹介しましたが、今後とも会館の利用に対しご協力賜りますようお願いいたします。

芸術の森地区連合会役員名簿（平成23年度）

役職名	氏　名	所属町内会等
会長	関口　明	(地) 常盤団地
副会長（兼）総務部長	島田　三千春	真駒内駒岡
副会長（兼）企画部長	大野　勝	(地) 常盤一区
副会長（兼）会計部長	斉田　雅也	サンブライト真駒内
総務副部長	佐野　豊則	常盤二区
福祉部長	堀川　昭八	芸森地区社会福祉協議会
女性部長	三上　良子	芸森地区女性部
青少年部長	前口　敦司	青少年育成委員会
防犯防災部長	山本　悟	(地) 見晴
防犯防災副部長	宮下　正	真駒内二団
環境衛生部長（兼）福祉副部長	齋藤　公博	石山東

役職名	氏　名	所属町内会等
交通安全部長	金子　侑	(地) アートパークタウン
交通安全副部長	寺田　利夫	(地) 石山八区
芸術文化部長	塩崎　典男	(地) 駒岡団地
体育部長	佐藤　優司	芸森東地区スポ振興会
監事	安藤　晃	滝野
監事	佐々木　敏夫	真駒内三団
顧問	佐々木　佐一	(地) 見晴
顧問	伊藤　正	滝野
顧問	高橋　稀一	(地) アートパークタウン

注：(地)は地縁団体

就任挨拶

芸術の森地区社会福祉協議会　会長　**堀川昭八**

この度、芸術の森地区社会福祉協議会会長を勤めさせていただくことになりました。

尊敬する伊藤会長のもとで、これまで副会長職を執らせていただいてきたものの、只々「福祉」事業の奥深さを再認識する2年間でありましたし、“超”少子高齢化の進む昨今などを考えれば、「大変な折に…」との思いは否めないところです。

しかし、幸い副会長さんはじめ主要役員の多くは続けていただけることになりましたし、活動体として平成10年に設立された「福祉のまち推進センター」、更にその基盤強化・体制整備を意図して立ち上げられた「（'センター）運営委員会」も3年目を迎えます。

順調に進められている“もりの仲間事業”等を含めて、これまで同様関係皆様方の積極的なご支援ご協力を切にお願い申し上げ、この場をお借りし、会長就任の挨拶に代えさせていただきます。

平成23年度芸術の森地区社会福祉協議会定期総会

副会長　塩田　恒雄

本会の定期総会は、5月9日（火）午後6時30分から芸術の森地区会館において、理事等60名が出席し、開催いたしました。伊藤会長の挨拶後、議長に理事の齋藤公博氏を選出し、第1号から第8号議案の審議に入り、原案どおり承認されました。

なお、本年度は、役員改選期にあたり、長年、会長として在職された伊藤正氏の勇退に伴い、後任に副会長の堀川昭八氏が選出され、また、長年社会福祉協議会発展にご尽力いただいた、伊藤正氏と野中晴彦氏に感謝状と記念品の贈呈が行われました。

1　平成23年度事業方針

活動体としての「福祉のまち推進センター」を中心に、連合会、行政機関、民生・児童委員協議会等と連携して、相互に支えあう、福祉活動の推進につとめます。

2　平成23年度活動の重点

（1）「福祉推進委員会等」の組織化
（2）「推進だより」の発行
（3）福祉施設の見学会
（4）研修会の開催
（5）「もりの仲間の子育てサロン」の実施
（6）「もりの仲間三世代交流会」の実施

平成23年度芸術の森地区社会福祉協議会役員

役職名	氏　名	町内会名	備　考
会長	堀川　昭八	石山東町内会	
副会長	塩田　恒雄	常盤団地町内会	（事務局長）
副会長	大野　勝	常盤一区町内会	
監事	前口　敦司	駒岡団地町内会	
監事	川口　武	石山八区町内会	
常任理事	塩崎　典男	駒岡団地町内会	（福まち運営委員長）（福祉推進部長）
常任理事	三上　良子	見晴町内会	（福まち運営副委員長）（子育て支援部長）
常任理事	馬場　宏	常盤一区町内会	（広報部長）
常任理事	目次　敬紀	アートパークタウン町内会	（高齢者支援部長）
常任理事	下総　仁志	常盤団地町内会	（ふれあい部長）
顧問	伊藤　正		
事務局長	塩田　恒雄	常盤団地町内会	
総務	田村　隆	常盤団地町内会	
総務	永川　陽子	アートパークタウン町内会	
会計	東　十八子	常盤1区町内会	

平成23年度の事業実施にあたり

芸術の森地区青少年育成委員会　会長　**前　口　敦　司**

青葉若葉のみぎり、地域の皆様方におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃当委員会の活動にたいしまして格別のご理解とご協力いただき心より感謝いたします。

いよいよ２３年度も始まり、心新たに委員一同やる気いっぱいです。また本年度は委員改選の年ということで4名の委員さんが就任されました。皆さんやる気のある方ばかりでさらにパワーアップした委員会となりました。

さて本年度の事業計画ですが、新事業のサマーレクリェーション（7月下旬）、常盤中学校アイネットワーク共催の教育フォーラム（10月）、南区少年少女親善スポーツ大会（11月）、交流もちつき大会（12月）、小学生スキー教室（1月）、その他地域のお手伝いとして森の仲間の三世代交流会（9月）、芸術の森音楽祭（11月）、南区成人式（1月）、祭事のパトロール（随時）等々目白押しです。どの事業も子ども達と一緒に活動できることばかりで楽しみです。私たちの活動は札幌市から委嘱されたボランティア活動ですが、その活動を通して子ども達から元気をもらっているような気がします。２３年度も委員全員が一致団結して活動を進めて行きます。各事業の際にはたくさんの参加お待ちしています。又、活動の際には地域や保護者の方々の一層のご理解とご協力をお願い致します。子供は私たちの宝です。その宝を地域の皆さん全員で育み守っていきましょう。私たちは少しでもそのお手伝いができたら幸いです。２３年度もガンバリます！

青少年育成委員会　定期総会報告

平成２３年度芸術の森地区青少年育成委員会定期総会は、4月16日（土）に開催され、平成２２年度事業及び収支報告と平成２３年度事業計画（案）及び収支予算（案）を提案し、いずれも承認されました。

平成２３年度は、4名が退任し、新たに4名の委員が加わり、１５名の新体制でスタートしました。

今年度は、昨年度までの行事に加えて新たな取り組みを計画して進めるとともに、地域の活動にも積極的に協力し、子供たちの安全と健全な育成に貢献するため、委員全員が一丸となって活動に取り組むことを確認しました。

皆様方の委員会へのご理解と諸活動への参加、並びにご協力をお願いします。

平成２３年度　青少年育成委員名簿

役　職	氏　名	推薦団体
会　長	前　口　敦　司	駒岡団地
副会長	吉　澤　孝　子	石山東
副会長	富　士　順　之	アートパークタウン
代表幹事	福　田　知　子	サンブライト真駒内
会　計	繁在家　公　恵	サンブライト真駒内
委　員	池　田　孝　司	常盤団地
委　員	石　川　浩　充	常盤一区
委　員	大　村　秀　明	アートパークタウン

役　職	氏　名	推薦団体
委　員	正　源　直　行	石山東
委　員	高　橋　朱　実	石山東
委　員	舘　岡　文　子	サンブライト真駒内
委　員	火　山　正　己	アートパークタウン
委　員	松　原　義　雄	常盤体育振興会
委　員	村　山　和　枝	常盤一区
委　員	鑪　水　恵満子	常盤中学校ＰＴＡ

入所サービス
ショートステイ
みなさまの想いにおこたえいたします
通所リハビリテーション
介護予防通所リハビリ

医療法人 愛全会
介護老人保健施設
アートヒルズ
〒005-0849　札幌市南区石山837-47
0120 FreeDial 0120-348-365（みんな しあわせ 365日）

安全・安心の街づくりをめざして

防犯防災部長　山　本　　悟

防犯・防災活動

高齢化と核家族化が進み地域のつながりが薄れがちになる中で、先般の東日本大震災の状況を見るとき、お互いに助け合い信頼し合うことが如何に大切なことか再認識させられました。日頃から災害に備えた措置を講じておくと共に、一人ひとりが地域と関わりを持ち住民同士の絆を深めておくよう心掛けたいものです。

連合会としては、各種地域安全運動への参加、防火防災運動への参加、子ども見守り研修の実施、110番の家スタンプラリー器材の配布、悪徳商法等に備えた防犯ステッカー製作配布、防犯地域安全のための帽子及びベストの製作配布を予定しています。

子どもの見守り活動

子どもたちが犯罪や事故にあわないためには、単に保護者や学校に任せるのではなく、地域の皆さんの協力が欠かせません。このような趣旨から平成18年度2月に「子どもを見守るネットワーク」がスタートしています。この間人命に係わるような大きな事案が見られず経過している事は、日頃の皆様の暖かいご理解と協力の賜物と感謝しています。

なお、子どもを見守るネットワークは、まちづくりセンターの自主運営移行を契機に、総会を省略していますが、今年も5月から6月にかけ、小学校区ごとに子どもを見守る総会が開催され、それぞれ地域の実情に応じた具体的な活動が計画実施されています。今後も子どもに危険が及ぶことが無いよう見守ったり、信号を守って道路を渡るよう声かけするなど、日常の目配り気配りをお願いいたします。

交通安全部（23年度）事業 ―― 就任挨拶に代えて ――

交通安全部長　金子　　侑

今年も暑い夏を迎え、会員の皆様にはお元気でお過ごしでしょうか。

私は、このたび当連合会の交通安全部長に就任いたしましたアートパークタウン町内会の金子でございます。

「芸術の森地区」も「石山地区」から分離して、早16年がたちました。この地区は名前が示すように、札幌市の芸術の拠点「芸術の森」を擁する緑豊な地域でございます。その中心には国道453号線と道々真駒内御料線が幹線道路として走っており、交通安全については、その2路線とスクールゾーンが重点地域になっております。

今年度の交通安全部の事業計画といたしましては、年4回（5月・7月・9月・11月）の街頭啓発が主な事業になります。

5月13日の春の街頭啓発については、雨と風のため残念ながら中止となりました。街頭啓発が中止になったのは初めてのことのようで、私が雨男ではないかと囁かれているとか、いないとか。

しかし、去る7月21日、盛大に開催されました夏の街頭啓発については、天候にも恵まれ、石山東小学校の全校児童133名が参加、瀬川誠南区長、中坂稔南警察署長が見守る中、280名強の参加となりました。またコンサドーレ札幌のマスコットキャラクター「ドーレくん」にも来ていただきました。子供達は大興奮ながら事故も無く、整然と街頭啓発を終えることができましたのは、ご協力いただきました学校関係者や子供達と、各町内会の方達のおかげと感謝申し上げます。

これからも、この地域での交通事故を一件でも少なくし、また、死亡事故はゼロを目指して皆様方と協力しながら、連合会交通安全部の事業を推進してまいりたいと考えております。

最後に、当連合会の益々の発展と、会員の皆様のご健康を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

クリーンさっぽろ芸術の森地区委員会総会

環境衛生部長　齋藤　公博

平成23年度クリーンさっぽろ芸術の森地区委員会は、5月23日芸術の森地区会館で、地区推進委員等20名が出席して開催されました。

環境衛生部平成２２年度事業報告、平成23年度の独自・共催事業、通年活動内容等を話し合い、無事終了いたしました。

札幌市では、平成23年7月よりゴミの分別と一部有料化を実施しましたが、ゴミパト隊によると、芸術の森地区はゴミステーションへの違反投棄の「個別指導」は、月11～12件と南区他地区や札幌市内に比し格段に良いとのことですが、今後もゼロにむけ御協力をお願いします。

また、平成23年４月から新聞・雑誌・ダンボールは「雑がみ」に出せなくなりました。しかし、まだゴミステーションへの排出が見受けられますので、町内会・学校等の「集団資源回収」へ、もし実施していない町内については「芸術の森地区会館」「セイコーマート（一般書籍は除く）」等でも回収しておりますので御協力をお願いいたします。

地区内不法投棄は依然として見受けられますが、推進委員や地区内住民の皆様の御協力を得まして、今年度もクリーンな地区に致したいと思っております。

御協力よろしくお願いいたします。

芸術の森地区クリーンさっぽろ衛生推進員名簿　▶平成２３年度◀

クリーン役職名	氏　名	町内会役職名	電話	住　所
会　長（地域推進員）	齋藤　公博	連町環境衛生部長（石山東町内会会長）	592−1048	石山東3丁目6−38
副会長	伏見　豊彦	駒岡団地町内会防災部長	584−5669	真駒内138番地
委　員	山田　保子	常盤一区町内会保健衛生部長	592−3265	常盤5条2丁目99−83
〃	田中　勝雄	真駒内三団町内会▲副会長	591−4371	真駒内353番地47
〃	高橋　春之	石山東町内会環境衛生部長	591−4754	石山東5丁目12−16

※「南区クリーンさっぽろ衛生推進協議会」規約　第12条　第2項
「衛生推進員」のうちから各連合会ごとに5名を総会の構成員として、「地域推進員」が選出する。

役員名	氏　名	町内会役職名
衛生推進員	齋藤　公博	石山東町内会▲会長
〃	金沢　勇吉	地緑団体見晴町内会▲副会長
〃	高橋　春之	石山東町内会環境衛生部長
〃	寺田　利夫	地緑団体石山八区町内会▲会長
〃	小林　栄	常盤団地町内会環境衛生部長
〃	福田　年翁	常盤台町内会▲副会長
〃	山田　保子	常盤一区町内会保健衛生部長
〃	藤井　信吾	アートパークタウン町内会生活環境担当

役員名	氏　名	町内会役職名
衛生推進員	柳谷　昭人	サンブライト真駒内町内会環境衛生部長
〃	東　良和	常盤二区町内会事業部長
〃	軽部　幹夫	滝野町内会衛生部長
〃	田中　勝雄	真駒内三団町内会▲副会長
〃	宮下　正	真駒内二団町内会▲会長
〃	西田ひでみ	真駒内駒岡町内会
〃	伏見　豊彦	駒岡団地町内会防災部長

※「地域衛生推進員」
「南区クリーンさっぽろ衛生推進協議会」規約　第2条　第3項
「衛生推進員」のうちから、各連合会毎に連合会の役職等を兼ねた者1名を「南区クリーンさっぽろ衛生地域推進員」として選出する⇒当地区の「地域衛生推進員」は連合町内会の環境衛生部長です。（石山東町内会会長）
※衛生推進員の方は「札幌市不法投棄ボランティア監視員」も兼務しております。

～くつろぎの宿～ 札幌市保養センター 駒岡
宿泊・入浴・休憩・宴会・パークゴルフ・熱帯植物館・レストランこまおか
1泊2食　4,900円～　入浴　300円～
宿泊プラン（1泊２食）
季節膳
6,500円～

もりの仲間のこまおか朝市開催中
毎月第2・4日曜日9時～
10名様以上で送迎バス無料
TEL 011-583-8553
FAX 011-583-8574
札幌市南区真駒内 600 番地 20

平成23年度　芸術の森地区連合会女性部及び同交通安全母の会構成員

本女性部は単位町内会の正副部長によって構成されています。「女性の教養を高め地域発展に貢献することを目的」（同女性部会則より）とし、地域では欠かせない存在として日々活動しております。今年度は下記メンバーで研修会・講演会等々進めてまいりますので、ご協力のほど、お願い致します。

名　前	町内会名	名　前	町内会名	名　前	町内会名
三上　良子部長	地縁団体見晴	引　間　節　子	石山八区	勝　谷　宗　子	アートパークタウン
村山和枝副部長	常盤一区	森　澤　直　子	〃	中　川　阿津子	サンブライト真駒内
小林弘美副部長	アートパークタウン	山　口　晶　代	〃	小野寺　ゆう子	〃
木　村　浩　子	地縁団体見晴	佐々木　昌　子	〃	若　生　朝　子	〃
村　山　美千代	〃	松　田　文　枝	常盤団地	吉　田　知　恵	〃
吉　澤　孝　子	石山東	藤　原　ともみ	〃	中　元　泰　子	〃
寿　崎　美由紀	〃	田　中　和　子	〃	長谷川　恵美子	駒岡団地
松　田　真佐子	〃	今　井　規峰子	常盤一区	正　保　由美子	〃
戸　田　美枝子	石山八区	佐久間　幸　子	アートパークタウン	佐　藤　信　子	〃

4月6日 新一年生へプレゼント

7月13日 女性部研修会

予告　研修会開催
10月12日（水）
14:00～15:30
テーマ
介護に関する事務手続き等について
会場　芸森まちセン

ママ友の親交が深まってます　タネイモ植え　七夕行事楽しみました　動物園へも行ってきました　もりの仲間の子育てサロン

去る６月22日（水）、円山動物園へ行ってきました。蒸し暑い日でしたが、元気いっぱい楽しみました。レッサーパンダの餌やりの様子は飼育員とのほほえましい姿を見せてもらいました。サル山の猿、ペンギン達は日陰に隠れたまま、オランウータンはさすが、元気に動き回っていました。芝生での昼食は格別で、皆、楽しく遊びまわった後は、ママの腕の中でスヤスヤ、バスを降りても夢の中でした。19家族参加。

５月18日のサロンでは、南老人福祉センター和野館長の指示のもと、タネイモを植えました。もう今は立派に葉が茂り秋の収穫が楽しみです。

7月6日のサロンでは、七夕行事を実施しました。木の枝に短冊をかけ、星釣りなどをして遊びました。

（芸術の森地区社会福祉協議会子育て支援部長　三上　良子）

種いも植え

七夕行事

「もりの仲間の三世代交流会」迫る

芸術の森地区社会福祉協議会
ふれあい部長　下総　仁志

平成15年、私たちの周りにある自然と生き物もみんな「もりの仲間たち」と言うことで、これを冠にして始められた「もりの仲間事業」、その一環が「もりの仲間の三世代交流会」、今年も近づいてまいりました。

例年どおり雨天決行、老若男女どなたでも参加できます。ジャガイモ、トウモロコシ、枝豆などで秋の味覚を満喫しませんか。綿飴、ヨーヨーなど、さらには室内ゲームや茶話会で楽しみませんか。

▽ ▼ ▽ ▼ ▽ ▼ ▽

日　時　平成２３年9月3日（土）10：00～12：00
場　所　常盤児童会館
（南区常盤二条2丁目 電話 011-592-6091）
主　催　もりの仲間の交流会実行委員会
協　力　北海道牛乳普及協会

ふれあい行事

「ふれあい」を基調に企画実践されている事業を単位町内会別に紹介するシリーズ第5回目は常盤二区町内会です。

常盤二区町内会

雪解け後から初夏にかけて、常盤二区町内会の人々は忙しい。農作業の準備と並行して毎年恒例の春の清掃行事が、5月（道路清掃）、7月（道路維持作業）に行われる。

当町内会（会員三十余世帯）の周辺環境に対する意識は高い。行事当日に参加できないときは、前日までに担当相当分の作業を済ませる人も多い。

今年5月の道路清掃では、軽トラック、農作業車等を動員し、路側帯の清掃活動で古タイヤ、テレビ等の不法投棄物をはじめ一般ゴミ等が、2トントラックで運搬するほど多量に収集された。会員数の少ない町内会の成果としては例年どおり上々の出来となった。

当町内会の行事は、先に記した行事のほか、新年会、(有)三島木工さんのご支援・ご協力を得て開催する木工講習会、他地区町内会と合同で開催される常盤神社祭典等がある。

道路維持作業、懇親会・納涼会

ここでは、ふれあい行事の一例として、札幌市からの委託業務として7月に実施した事業部主催の“道路維持作業”と、終了後に行われる事業部・社教部共催の“懇親会・納涼会”について紹介する。

多忙な時期でもあり、会員の予定を考慮し開催案内は事前に全戸配布される。作業当日は各人がエンジン式草刈機を持ち寄り、手分けして担当する区域内の道路両側に繁茂する雑草、笹、小枝などを刈り進む。

毎年恒例の行事でもあるので、午前9時開始との案内ではあるが、時間前からあちこちでエンジン音がして各人のペースで作業が始まる。3時間ほどの作業で、刈り込む道路の総延長は5ｋｍにも及ぶ。

作業終了、一汗かいたところで町内会館前に三々五々集まってきてバーベキュー会場設営が始まる。専門部が持込んだ豊富な肉、魚介類、野菜、生ビール等の食材を処理する者、炭火起こし、椅子など会場設営を行う者等要領よく準備が進行し野外バーベキューが始まる。都合で作業に参加できなかった人、子供たちも大歓迎で、和気あいあいの会となる。

普段の精進がよいせいか、ここ何年も天候には恵まれ延期、中止になったことはない。

一汗かいた後のビールは格別だ。

十分堪能して皆で後片付けして散会となった。

福祉を支える人　菅江（すがえ）　武（たけし）さん

プロフィール

1943年、上川郡弟子屈町生まれ。
1973年、結婚。子供4人、独立。常盤6条2丁目在住。

「常盤に住んで18年になります。当時信号3つだったのが、いっぱい増えてすっかり街になってきた感がします。」と言い、続けて次のように話してくれました。

札幌芸術の森近くに住んでいますので、ときどき散歩に行っていました。だいぶ前に開催された「イサムノグチ展」を見たとき、作者の歩み、年代によるいろいろな作品群、モエレ沼公園の誕生などを見聞きし、作品の中の物語を垣間見た思いでした。

その後、野外彫刻作品解説ボランティアの募集を知り応募しました。平成18年6月から活動を初め、6年目になります。（芸術の森地区から私を含め4名登録されています）

ボランティア活動で楽しいことのひとつに、彫刻を楽しみにこられたお客様と1～2時間、作品の案内をしながら森の中を散策しますが、「しゃべりすぎていないか」「でしゃばっていないか」「楽しんでおられるだろうか」と、適度の緊張を持ちながら解説しています。帰られるときには、笑顔で見送り出来たとき、この上ない喜びのときです。

東っ子クラブ　今年も開催します

パークゴルフ場も完成しました

子供を豊かに育むために、学校・家庭・地域が一体となって放課後の子供の居場所作りとして誕生した「東っ子クラブ」が3年目を迎えました。新しいボランティアさんも加わりました。読書会、伝承遊び、映画鑑賞等々、また体育館でのボール遊びも人気です。7月21日には、グラウンドに「東っ子パークゴルフ場」が完成し地域の人達と一緒に「パークゴルフ場開きの会」が行われました。外での遊びが1つ加わりました。今後は三世代交流の場として大いに活躍することでしょう。

パークゴルフ場開きの様子

こまおか朝市　6周年記念行事に参加して

芸術の森地区社会福祉協議会　堀川　昭八

高齢者の、日頃必要な食料品の提供、そして触れ合いと健康の増進を図ることを目的として、平成17年に立ち上げられた「もりの仲間のこまおか朝市」は、今年で6周年を迎えました。

“朝市”実行委員会ではこの度「6周年記念行事」を企画し、去る6月12日に恒例の“朝市”をはじめ、喫茶・チビッ子・陶芸コーナー・フリーマーケットの他ステージイベントとしてフラダンスやオカリナ・サックス演奏・カラオケ・常盤中学校吹奏楽部演奏などの他、会場は触れ合い交流の場としても盛り上り参加800余名、皆で楽しい1日を過ごしました。

なお、“こまおか朝市（12月～4月を除く第2・第4日曜日）”は、“まわりへの心配り”そして“地域での支え合い活動”の場にも繋がる事業として、できる限りのお手伝いは続けてまいりたいと考えているところです。

平成23年度 第17回 芸術の森地区 文化祭

日時　11月2日（水）・3日（木・祝）
10:00～17:00（3日は15:00終了）

場所　芸術の森地区会館（南区石山東7丁目1－31）

作品募集　絵画・書道・木工・陶芸・手芸・生け花・盆栽・写真等

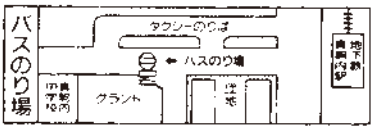
作品搬入　10月21日（金）～28日（金）15:00まで
作品名・氏名記入の上、上記会館へ持参願います。

問い合わせ先　芸術の森地区文化祭実行委員会
（芸術の森地区まちづくりセンター内　電話592－7009）

永久に生きる花と緑の明るい聖地
真駒内滝野霊園
札幌市許認可霊園

無料　見学・墓参バス運行中

時間　午前 10:00
午後 12:00
午後 2:00



お問合せ・お申込みは　真駒内滝野霊園事務所 ☎(011)592-1223(代表)

東日本大震災・災害復興支援　希望への９０日

常盤団地町内会　防犯防災部長　**細　川　勝　彦**

南三陸町防災センター

気仙沼市大谷海岸　港より流されてきた船

石巻市立吉浜小学校

私は東北災害復興の為、宮城県石巻市に約３ヶ月（90日間）余り支援に行ってまいりました。この度の震災に遭遇して、「幸福」幸せって何なのだろうか?と考えてみました。現場に行って見ますと、道路は無い、電柱、信号機、橋、鉄道、レール、もちろん電気も水道もありません。想像を絶する光景を目の当たりにして「ガク然」としました。廃墟です。町がありません。

自分達に何ができるだろうか、もちろん私一人では出来るものではありません。組織の力でやって行くしかありません。まず人員、物資を輸送する道路を作ることが先決です。

私達は3月１４日出発、15日到着、3月16日から作業開始です。最初の現場は、南三陸町志津川地区でした。海岸から10km手前位の所から国道が無く、がれきの山です。３日間位かけてようやく片側１車線を開け（夜間作業をしながら）そんなわけで、国道、県道、市道、町道、約２ヶ月位作業は続きました。

その間、行方不明者の捜索などもありました。作業をしている間、被災者は目を真っ赤にはらし、涙も出ない状態で、涸れてしまっている様子です。「ぼーっと」基礎さえ残らず、有るはずもない家を見つめたたずむ老人、妻、子を亡くした私と同年輩の男性が無気力で私達の作業を見ていました。そういう状況で被災者の方々の顔を見ることもできませんでした。

４週間が過ぎた頃、何処のラジオ放送局でしたか始めて音楽が流れてきました。「アンパンマン」の歌でした。子供達が無邪気な顔で踊っていました。被災者、私達も笑顔が戻ってきました。毎日「震災の事ばかり」で暗い日々でしたから、やはり子供たちは「希望の星」です。

もう「過ぎてしまった事」、「失った物」、「亡くなった人」も帰ってきません。これからの人生、生きていればなんでも出来る。明日に向かって前向きに生きていきましょう。

「幸福って何だろう!」「家族がいて食事をする」「寝る」「スイッチを入れると電気が点く」「蛇口をひねると水が出る」「冷蔵庫を開けると食べ物がある」「トイレで用を済ます」そんな「当たり前の事」「普通の事」が幸せなのではないでしょうか。

東日本大震災義援金についてのご報告

3月11日（金）に発生しました東日本大震災について、芸術の森地区まちづくりセンターでは「東日本大震災義援金」の募集を行っております。これまでに当センターに集まりました義援金の累計は、２７万５４４３円（7月２５日現在）です。地域の皆様のお心遣いに感謝致します。なお、義援金の募集は今年の9月まで行っておりますので引き続きよろしくお願い致します。

芸術の森地区主要事業予定
（平成23年8月～平成24年3月）

月日	行事名	担当	場所
8月	盆踊り会場パトロール	育成委	芸森地区内
8/28	芸森大運動会	連合会	常盤小学校
9月	もり仲「さわやかクラブ」	社協	地区会館
9/3	もり仲三世代交流会	社協	常盤児童会館
9/上旬	出前講座「環境衛生関係」	連合会	地区会館
9/30	秋の交通安全街頭啓発	〃	地区会館前
10/12	女性部研修会	〃	地区会館
10/中旬	防災関係研修会	〃	〃
10月	もり仲「さわやかクラブ」	社協	未定
10月	福祉施設見学会	〃	〃
10/下旬	芸森子ども見守り研修会	連合会	地区会館
11/2/3	第17回芸森文化祭	〃	〃
11/3	クリーンさっぽろ不法投棄回収	〃	芸森地区内
11/13	第16回芸森音楽祭	〃	芸森アートホール
11/17	冬の交通安全街頭啓発	〃	芸森会館前
11月	福祉に関する講演会	社協	地区会館
12月	交流もちつき大会	育成委	常盤児童会館
12/中～2	雪あかりの祭典	連合会	芸森地区内
1/9	成人式行事協力	育成委	アパホテル
2～3月	がん検診	連合会	がんセンター
2/26	パークリング大会	〃	駒岡地区会館
毎月2回	もり仲子育てサロン	社協	福まち推進センター

注：標記中「芸森」は「芸術の森地区」の略
「もり仲」は「森の仲間の」の略
「地区会館」は「芸術の森地区会館」の略
「育成委」は「青少年育成委員会」の略

第17回ソフトボール大会

体育部長　**佐藤　優司**

7月3日（日）爽やかな風が吹く中、石山東公園及び石山東小学校の両グラウンドで地域6チームにより、第17回ソフトボール大会（トーナメント戦）が行われました。

初戦から両グラウンドとも1点差という好勝負となり、それぞれ熱戦が繰り広げられました。決勝戦は連覇を狙うサンブライトチームと、“常勝軍団”とも言われる石山東チームとの間で行われ、逆転を期し最終回に円陣を組み気合を入れたサンブライトチームの追撃も及ばず、石山東チームが3年ぶりの優勝を果たしました。

なお、3位は常盤一区チームでした。

おめでとうございます

★札幌市長表彰（自治振興功労）（4月23日）　以下敬称略

石山東町内会　**堀川昭八**

★地区連合会会長表彰（永年功労）（4月23日）

石山東町内会　**堀川昭八**
（前芸術の森地区連合会副会長）

石山八区町内会　**佐々邦雄**
（前同地区連合会監事）

滝野町内会　**伊藤　正**
（同地区社会福祉協議会会長）

★地区社会福祉協議会会長表彰（永年功労）（5月9日）

滝野町内会　**伊藤　正**
（前芸森地区社会福祉協議会会長）

石山東町内会　**野中晴彦**
（前同地区社会福祉協議会ふれあい部長）

真駒内川改修工事

真駒内川を考える会　会長　**関口　明**

去る4月21日地区まちづくりセンターで、平成22年度真駒内川総合流域防災工事（補正予算分）の説明会が行われました。

22年度工事は、1期（～23年1月）・2期（～23年3月）とも（人道橋下まで）予定どおり終了しており、この度はその上流約222mの区間、両岸が対象となります。

すでに着手されていますが、これまで同様出入り車両への配慮など、事故防止には十分ご留意下さい。

全工程の常盤1号橋まであと一息、「平成23年度で完了」との風聞も夢ではなくなるよう、宜しくご協力をお願いいたします。

編集後記

“光陰矢の如し”。ついこの間としか思えず、未だにどこまで続くか先の見えない原発事故を引き起こした東日本大震災の発災から、早5ヶ月近く経ちました。

ただ、全国的に力強く動き出した大震災への復旧・復興活動も、今頃は先の見えない原発事故のことがあるのか、何となくスピードダウンの感は払拭できない昨今でもあります。

私達の連合会をはじめ社協、育成委など諸団体の総会も、この5月前後で終えており、新年度に向け歩みはじめましたが、このたびの大震災の直接的被害はなくとも、いろんなマイナス面の影響は考えられる難しい時期ではなかろうかと思います。

「頑張れ東北」と共に、身近なことも見直しするなどして、“長続きする確かな歩み”を求めたいものです。

広報「芸術の森」編集委員会

委員長	堀川　昭八	委員（監査）	馬場　宏
副委員長	三上　良子	委員	島田三千春
委員（会計）	佐藤　宗昭	委員	火山　正己